

日 時 令和5年2月10日（金）13時30分～15時05分
場 所 榛原庁舎4階会議室
内 容 令和4年度第3回牧之原市地域公共交通会議

1 開 会

2 挨拶(大石会長)

3 議 事

委員 25名中 22名（欠席：水野委員、都築委員、山内委員）の出席により会議成立。

(1) 令和5年度の運行に関する事項

①デマンド乗合タクシー・バスの運行における変更点について

≪資料1説明≫ 資料1-1…（保留） 資料1-2、1-3…（承認）

【質疑応答等】

(運輸支局 原田委員)

まきのはら号は自家用有償運送（道路運送法79条）で運行しているものであり、交通空白地で認められる制度となっている。4条や21条で運行されている地域で自家用有償運送はできないので、まきのはら号の特定施設間の移動については制度上難しい。

また、4条や21条で許可を取っている所についても、既存の交通事業者への影響もあると思うので、合意をいただく必要がある。幹線系統が走っていることもあり、乗客が減ることになると他市町にも影響が出てくるので、そこも踏まえた調整が必要になる。

(事務局)

まきのはら号については、別のやり方を検討していきたい。このこともあるので今回の特定施設間移動については、協議というよりは一旦保留とさせていただき、対応を考えていきたい。

(伊豆原座長)

まきのはら号の特定施設間移動が難しいとの意見があることから、資料1-1（特定施設間移動）については、対応を検討するためもう少し時間をいただく旨の説明とする。

(社会福祉協議会 柴委員)

社会福祉協議会の事業の利用者からの意見を報告させていただきたい。デマンド乗合タクシーを利用してサロンに参加しようと思っているがサロンの日と合わない

ので利用できない。臨時や追加の運行、運行曜日の変更などの可能性はないかとの意見があったので報告する。

(事務局)

サロンの方と定期的に意見交換を実施し、可能な限り対応していきたい。

(公募市民 増田委員)

計画の資料編に社協に関連することが記載されているが、関係機関等ヒアリング調査の概要に社協の名前がないのだが。

(事務局)

市の社会福祉課を通じて相談支援事業者へのアンケートを実施した。社協とイコールではないが、障がい者の意見は聞いているので、直接ではないが声は拾っていると考えている。

(2) 牧之原市地域公共交通計画の策定について

〈資料2説明〉 (承認)

【補足等】

(鈴木委員)

女性＝子育ての言葉が引っかかってしまった。シングルファーザーもいるので、公の文書でこの表現がよいのか気になってしまった。公共交通の面で見れば女性だけにバス代半額などの特別なサービスをしてしまうと、今度は男性から意見が出てきてしまうだろうし、今の時代、男性だと思っているけど戸籍は女性という人もいることから、引っかかってしまった。

(大石会長)

「日本一女性にやさしいまち」はキャッチコピーとしてこういう言い方をしている。実際は子育てや出会いや暮らしといった女性だけでなく施策全体としては男性女性が均等になるよう目配りをしたうえで、全体を市にとっていい方向に進めていこうというのが考え方であるが、その時に尖った言い方をしていると捉えていただければと思う。公共交通の中ではどうしてもその中でどの施策に当てはまると考えたときに子育てに光が当たっているのが見えてしまっているところがあった。総合計画全体では女性だけに特化するのではなく、全体に目配りをした上での考え方になるので、ご理解をいただきたく思います。

(鈴木委員)

詳しい説明がこの中に必要なのか、細かい部分の説明があるとわかりやすいと感じた。これだけ出してしまうと誤解されてしまうかなとも感じた。公共交通としては、みんながわくわくするような内容があるといいなとも感じた。

(公募市民 増田委員)

販売施設がどこなのかわからない。相良営業所は閉めていると聞いているので、

静波海岸入口でしか販売していないのか。可能であれば相良庁舎で販売できるようになればありがたい。

(ジャストライン 吉林委員代理)

大御所パスの販売先は、現在、静波海岸入口だけとなっている。理由として窓口業務の従業員の確保が困難となっている。募集はかけているが、なかなか確保できないため、やりたくてもできない苦しい状況になってしまっている。販売先について記載していただけるならそれもいいと思うし、ただ現状を考慮すると、弊社のホームページやコールセンターの番号を記載していただく方法もあると思う。記載ができるようであれば相談いただけたらと思う。

(公募市民 増田委員)

人がいないということであれば、役所での代行販売や大御所パスの内容、販売先のPRをしていただければありがたい。

(伊豆原座長)

今のお話は、事業展開の話であって、計画の中に記載するという話でないという解釈でよいか。

(公募市民 増田委員)

それでよい。

(伊豆原座長)

ジャストラインさんの努力だけでやるのは人員もいないのでは厳しいかと思うが、ジャストラインさんには、委員の皆様等に情報共有はできると思うので、そういう努力をお願いしたい。

(運輸支局 原田委員)

私の意見は校正の話になるので、対応していただけてありがたい。

《資料編説明》

(事務局)

本編 P38 中の榛原総合病院の関係で、現在、バス（特急静岡相良線）が乗り入れている時間帯は8時40分くらいから16時半くらいだが、もう少し利便性を高めたいため増便していただければありがたいとの話が先日に榛原総合病院の方からあったので報告させていただく。

特急静岡相良線はジャストラインさんの路線になるので、今後調整や相談をさせてほしい。また、この件については以前に増田委員さんから意見がありましたが、何か補足はありますか。

(公募市民 増田委員)

通院や検査、特に人間ドッグの場合、朝が早く検査によっては公共交通機関での来院となる時もある。その方々のため、朝の便乗り入れは必要だし、従業員の方も遠方から通勤している方も多く、バスがあれば安心して通勤できると思う。特急線の

速達性を考えると全便と言わなくても、特定の便だけ朝から夕方に乗入れることはできないものか。来院者や従業員の方のため、なるべく早くやってもらえるとありがたい。

(事務局)

この件については、ジャストラインさんと共に協議を続けていきたい。

(ジャストライン 吉林委員代理)

厳しい意見をいただくことになるかもしれませんが、昔と違うのは人口が減ってきている現状と重ね重ね申しておりますが、運転手がいなくなっている事実がある。交通事業者側に言われがちであるが、バスに関してはもはや万能な乗り物ではないことを皆様に理解していただけないことには難しい時代に入ってきていると感じている。そういう意味では区域運行など小回りが利かないとニーズに答えられないのが実際ではないかと感じている。とはいえ、おっしゃっていただいた意見があることも事実であるため、対応できる所は牧之原市と協議調整し対応していきたい。

(伊豆原座長)

特定の便だけというのは簡単な話ではないかもしれない。固定された路線で固定された運行であればまだいいかもしれないが、様々な運行スタイルがあるので簡単にはいかないと思う。榛原総合病院へのアクセスはジャストラインさんでよいのか、それとも何か別の違う見方があるかもしれない。患者さんのためにはどういう仕組みがよいかを考えていくことが大事。労働時間の問題等もあり、これからは公共交通を事業者だけで維持していくことが厳しくなっていく。色々なやり方があると思うので、皆で知恵を出し合い、やり方を見つけ出して協議検討していき共有していくことも必要である。

運輸支局のホームページに事例も掲載されているので、参考にしてほしい。

(運輸支局 原田委員)

よくある事例として、安易で使い勝手がよいものを導入してしまうと、かえって地域の公共交通を衰退させてしまい、良かれと思ってやったことが逆の効果になってしまう事例が結構ある。バランスをとるために事業者さんと調整を図って両方活かせる形態を作り出すのが望ましい。

4 その他

5 閉会